

社会保険労務士からの三方一両得だより

令和8年10月20日 第205号

プラネタリウムに行ってきました

昨年改装された栃木県子ども総合科学館のプラネタリウムに行ってきました。改装前に「すごい投影機が導入されるらしい」と話題になっていたので、楽しみにしていました。結論、なんとなくすごく緻密な星空のような気がしたという感想です。すっかり目が悪くなってしまい、眼鏡をかけていても何となくぼやけているので、小さな点を認識できていないのだと思います。天の川を10.3億個の微細な点で再現しているそうですから、とてつもなく緻密な映像なのでしょう。



10月20日打ち上げの火星探査の番組です。

旅行などもそうですが、体力もあり感受性も高い若いうちに色々なことを体験することの大切さを、まさかのプラネタリウムで実感しました。

それよりも驚いたのは、全く期待していなかった通常の展示が素晴らしかったことです。人体から宇宙まで、ただ説明を見るのではなく、ちょっとハンドルを回したり、ものを動かしたり、引っ張ったりなど、体感できるよ

うに工夫されていて感心しました。

また、手術針のマニー、歯科治療器具のナカニシ、EVの日産など、県内の大手企業の展示が多数あり、栃木県が物づくりの県だったことを思い出させてくれました。

休日でもプラネタリウムに空席がありましたので、改装して1年経ち、混雑も落ち着いたようです。



神戸製鋼所の展示です。



菊芋の花は、そのまま菊です。

台風の甚大な被害から切り替えて、冬野菜の準備をするつもりでしたが、ほとんど何もできませんでした。雨の直後は畑の土を傷めてしまったため、作業ができません。今年はずっと雨が降っていただけで、どうにも日照不足もあり、白菜、キャベツの苗づくりはうまくいきませんでした。一度は綺麗に発芽したタマネギの種ですが、いつのまにやら完全に溶けてなくなりました。悲しいです。

我が家の畑

「トモイクシート Web 版」が公開されました

「トモイクシート」とは、夫婦やパートナー同士で家事・育児の分担や負担感を整理し話し合い、最適な協力体制づくりを行うためのツールです。厚生労働省の「共育(トモイク)プロジェクト」より、9月11日に「トモイクシート Web 版」が公開されました。

◆「トモイクシート Web 版」の活用方法

トモイクシートは印刷して記入できる PDF 版と Word 版も公開されていますが、Web 版はスマートフォンやパソコンから利用することができ、ダウンロードや印刷の手間なく、下記のステップごとのシートに話し合いながら入力することができます。



STEP1では、どんな家族を築きたいか「目指す家庭像」について対話し、入力します。

STEP2では、現状の棚卸しを行い、「家事・育児負担の見える化」をします。家事・育児リストの各項目の「担当割合」スライダーを各自が思う割合に合わせ、負担に感じている項目については「心の負担度」欄に✓を付けます。心の負担が大きい家事・育児、認識がズレている家事・育児を中心に、お互いの感じ方の違いを話し合います。

STEP3では、STEP2で入力した内容が反映された「家事・育児リスト」が表示されていますので、話し合って「理想の担当割合」を決めます。また、理想の担当割合に近づけるための方法などを話し合います。シートには、対話が一度きりで終わらないように、次回の予定を決める欄も設けられています。

夫婦やパートナー同士の協力体制が整うと、育児や介護をしながら働く従業員も仕事を続けやすくなります。仕事と家庭の両立支援のために活用を勧めてみてはいかがでしょうか。